

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2015 年度（自 2014 年 10 月 1 日 至 2015 年 9 月 30 日）第 3 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

- ☐開催日時 2015 年 12 月 9 日（水） 16：00～18：00
- ☐開催場所 大阪国際会議場 8F「801 + 802」（第 8 会場）
- ☐理事総数 20 名
- ☐監事総数 3 名
- ☐出席理事数 20 名
- ☐出席監事数 2 名
- ☐出席理事の氏名

北野正剛（理事長）、渡邊昌彦（副理事長）、岩崎昭憲、岩中 督、大貫恭正、小澤壯治、黒川良望、坂井義治、塩田 充、堤 治、出沢 明、寺地敏郎、徳村弘実、橋爪 誠、松田公志、森 俊幸、森川利昭、山下裕一、若林 剛、渡邊聡明

- ☐出席監事の氏名

馬場志郎、松本純夫

- ☐議長の氏名

北野正剛

- ☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

- ☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り、北野正剛理事長より挨拶がなされ、議事が開始された。

はじめに北野正剛理事長より、本総会を持って理事を退任される旨のご挨拶がなされ、次に、第 28 回 JSES 総会の盛況な運営状況に対し松田公志会長へ向けて労いのお言葉をいただいた。

1. 前回の理事会議事録が確認された。

2. 報告事項

1) 編集委員会報告

(1) 日本内視鏡外科学会雑誌（北野正剛編集主幹）

・投稿状況が報告された。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery

・活動報告がなされた。併せて、各エディターの担当論文数に偏りがあるため、早急に対策を

とる予定である旨が述べられた。

- ・北野正剛理事長が Editor in Chief, 北川雄光理事が Editor, 渡邊昌彦理事が Associate Editor に就任することが報告された。
- ・今後もインパクトファクター獲得に向け引用強化を継続する点が報告された。

2) 総務委員会報告 (若林剛委員長)

- ・庶務報告 会員数 12,772 名 (2015 年 11 月 20 日現在)
- ・未納退会者が 286 名になることが報告された。
- ・物故者, 2015 年度の名誉理事長, 名誉会長, 名誉会員, 特別会員推戴者が報告された。

3) 教育委員会報告 (黒川良望委員長)

- ・第 20 回教育セミナーについて報告された。
- ・内視鏡下結紮・縫合手技講習会について 2015 年までに計 149 回 (3500 人受講) の講習会を開催した点が報告された。
- ・新たに「三重消化器内視鏡外科研究会」が公認研究会として承認されたことが報告された。
- ・後援講習会について, 2015 年度認定数が 99 件となったことが報告された。
- ・用語集改訂委員会: 約 1000 語掲載準備ができた, 用語委員会で確認後 HP へアップ予定。12 月 1 日に日本医学会の用語委員会へ出席し各学会で作成する用語集の仕様を統一していく点が話し合われたことが報告された。

4) 学術委員会報告 (山下裕一委員長)

- ・2013 年度申請の NCD データを利用した消化器外科領域新規研究課題「腹腔鏡下胃切除術の安全性に関する検討 NCD による前向き調査研究」が現在 NCD 側で解析中であることが報告された。
- ・2014 年度 NCD データを利用した消化器外科領域新規研究課題「日本内視鏡外科学会技術認定制度における技術認定レベルのアウトカム評価」についても進められていることが報告された。
- ・2015 年度 NCD 研究「高齢者に対する腹腔鏡下手術の意義」については, 現在 NCD 側と打ち合わせを重ね進められていることが報告された。
- ・2016 年アンケートが開始する旨予告された。
- ・研究予算が 1 研究につき 300~400 万円である点が説明され, 研究が長期にわたる場合は研究数・研究機関についての規制について検討する必要がある旨, 意見がなされた。

5) 保険委員会報告 (森俊幸委員長)

- ・オリンパスの洗浄シースについてエビデンスを得るため, 医師主導治験ということで協力を仰いでいく旨報告された。

6) 規約委員会報告 (徳村弘実委員長)

- ・委員会規則第 4 条 5 項に「委員長は前条により委員会の編成を結了したときは速やかに理事長に報告しなければならない。委員会の存続中に前項の事項を変更した場合も同様とする。」と記載があるとおり, 『委員が交代した際には速やかに理事長に報告する』点を徹底する旨報告がなされた。

- ・監事について、評議員から監事に移行する上で学会内での公労を配慮し、名誉会員などと同様に、会費を免除とする点が承認された。
- ・副理事長の選出方法については、定款を改定することなく、定款内記載も現状のまま「執行理事より選定」とすることが報告された。

7) 将来構想委員会報告（寺地敏郎委員長）

- ・12月3日に開催された規約委員会との合同委員会において、評議員のあり方（選出方法）、理事のあり方（選出方法）についてルール決めの必要性も含め、フリーディスカッションが行われた点が報告された。
- ・評議員の選出については、今後の評議員内の領域のバランスを考慮し選出していく点や、評議員更新制について今後検討する余地がある点なども考慮し、規約委員会・将来構想委員会・評議員選考委員会 3委員会でも合同委員会を開催する必要性が話し合われた。
- ・学会総会時のプログラムでは、将来的に専門医制度を見据え、消化器外科以外の他領域のプログラムも組んでいく必要性などについても議論がなされた点が報告された。

8) 広報委員会報告（出沢明委員長）

- ・NewsLetter 21号発行が報告された。新たなところみとして、堤弁護士の「過去の判例についての連載」の掲載が開始された点が報告され、今後も同様な新しいところみをしていきたいとの説明がなされた。
- ・ホームページのリニューアルがなされた点が報告された。

9) ガイドライン委員会報告（渡邊聡明委員長）

- ・日本語版（改定）が2014年に制作され、次回は5年後の改訂を目指す点が報告された。
- ・ガイドラインの英語版を制作し、ASESに2015年より掲載されることが報告された。

10) 第三者評価委員会（岩中督委員長）

- ・報告事項なし

11) 倫理・渉外委員会報告（堤治委員長）

- ・報告事項なし

12) COI委員会報告（森川利昭委員長）

- ・報告事項なし

13) 医工学連携委員会報告（森川利昭委員長）

- ・医工学連携委員会が中心となり第28回総会の医工連携企画について進めた点が報告された。
- ・企画内容は委員会の運営に積極的に活用、常設サイトへ反映させていく予定である点が報告された。
- ・運営に関する費用の分担について今後要検討する必要がある点について報告された。

14) メディカル・チーム検討委員会報告（岩崎昭憲委員長）

- ・報告事項なし
- ・メディカルスタッフマニュアル 2013 年分の残数が 1000 冊ほどあるため、手元に 200 部程度残し、余分は無料で理事に 10～20 部ずつ配布する予定。その後理事が会員へ配布する点が促された。

15) E ラーニング委員会報告（大貫恭正委員長）

- ・報告事項なし
- ・今後の E ラーニングの実績を技術認定制度の更新条件にするのはどうかとの意見がだされた。
- ・JSES のオリジナルのコンテンツをどう作成していくかという問題がある点が話し合われ、今後、教育委員会・技術認定制度委員会・技術審査委員会の三部門合同で議論する必要がある点が話し合われた。

16) 国際委員会報告（坂井義治委員長）

- ・2016 年国際名誉会員の報告がなされた。
- ・SAGES 2016 が 2016 年 3 月にボストンで開催され、セッションがもたれる点が報告された。
- ・2020 年 IFSES を日本に誘致する件については順調に進んでいる点が北野正剛理事長より報告された。

17) 専門医制度検討委員会報告（渡邊昌彦委員長）

- ・報告事項なし
- ・内視鏡外科学会が専門医をつくるべきか、現在の技術認定医の認知について普及させるのか、難しい立ち位置である点が報告された。

18) ロボット支援手術検討委員会報告（橋爪誠担当理事）

- ・胃がんは 330 例中 100 例弱の登録があり、平成 30 年度診療報酬改定の収載をめざしている点が報告された。腎部分切除についての登録はすべて完了しており、来年保険収載の予定である点が報告された。婦人科は条件つきで承認された点が報告された。
- ・10 月 15 日に厚労省保険局と話し合いをもち、先進医療 B 取得で進める点、費用対効果を出すことが前提である点についての確認がなされた点が報告された。

19) 大上賞選考委員会報告（渡邊昌彦委員長）

- ・受賞者が笠間和典氏（四谷メディカルキューブ）となった点が報告され、承認された。

20) 出月賞選考委員会報告（森俊幸委員長）

- ・受賞者が小野田貴信氏（KKR 札幌医療センター斗南病院 外科）となった点が報告され、承認された。
- ・審査基準の改定について報告された。

21) 第 28 回総会 準備報告（松田公志会長）

- ・総演題数が計 3256 題（総数：522 セッション数）となった点が報告された。
- ・カールストルツ賞の受賞演題（3 演題）が報告され、承認された。

- ・従来の抄録集（印刷物）を CD - ROM に切り替えた点が報告された。ポケットプログラムの活用性を考え作成方法を検討する時期に来ているのではないかとの意見がなされた。
- ・メディカルスタッフのセッションの会場が狭かったので今後広い会場を手配する必要がある点が報告された。

22) 第 29 回総会 準備報告（渡邊昌彦次期会長）

- ・テーマは「“自我作古” Be the First. Make History」に決まったことが報告された。
- ・2016 年 12 月 8 日（木）～10 日（土）に、パシフィコ横浜にて開催する点が報告された。
- ・プログラム構成について定義の説明がなされ、今後プログラム委員会にて詳細を決定していく点について報告がなされた。
- ・12 月中に HP が公開される予定である点、2016 年 3 月に主題プログラムを決定、5 月～6 月に演題募集となる点が報告された。

23) 第 30 回総会 準備報告（坂井義治次々期会長）

- ・2017 年 12 月 7 日（木）～9 日（土）、国立京都国際会館にて開催する旨が報告された。
- ・京都の宿泊予約が非常に困難である点が報告された。
- ・国際会館、プリンスホテルは宿泊が確保されている点が報告された。

24) 第 31 回総会 準備報告（岩崎昭憲次々々期会長）

- ・2018 年 12 月 6 日（木）～8 日（土）に開催される点が報告された。
- ・会場は、福岡国際会議場・福岡サンパレスに加え、マリンメッセ福岡を確保した点が報告された。

25) 日本医学会等報告（北野正剛理事長）

- ・手術トレーニングのご案内について報告がなされた。若手育成にぜひ協力していくように、との点が強調された。
- ・報道発表された「腹腔鏡下肝切除に関する登録制度」に対し、日本内視鏡外科学会として、意見ならびに要望を提出し回答が得られた点が報告された。またこの点については HP 掲載済みである点もあわせて報告された。

26) その他（渡邊昌彦副理事長）

- ・インターシード（癒着防止材）の使用が婦人科で限定されていたため、腹部外科で使用できるように学会の要望書を厚生労働大臣に提出する予定である点が報告された。

3. 審議事項

1) 技術認定制度委員会 審議（松田公志委員長）

- ・前回の制度委員会の議事録の確認がなされた。
- ・消化器・一般外科領域 審査委員の満期を伴う再任委員・新就任委員・退任委員について報告され、承認された。
- ・技術認定の更新について、2 年目の延期申請がなされた先生（2 名）について報告がなされ、特段の認める理由がなく臨床症例数も不足しているとの判断から、2 年目の延期申請は認めないとの判断がされた点が報告され、承認された。

- ・規則の改定・細則の改定について改定個所の説明がなされ、承認された。
- ・細則内では、審査委員の選任条件として、技術認定を取得してから5年経過していない場合でも特段の推薦理由を持って委員長が認めた場合は選任が認められる点が追記された。また、年に3回開催される技術審査委員会に3回以上連続して欠席していないことが、委員を継続する条件として追記された。
- ・細則内第2章第6条の「提出ビデオ」記載内で、「動物実験」を「ウェットラボ」と称する点を確認され、承認された。小児外科領域の提出ビデオに、腹腔鏡下脾臓摘出術が申請ビデオとして認められた点が追記された。

2) 評議員選考委員会（塩田充委員長）

- ・評議員選考において、87名の新評議員が選考された点が報告された。
- ・評議員申請について（書類）内の改定個所（以下）が報告され、承認された。
 - －申請時に、「直近7年のうち」4回以上の学会参加を条件付けとする点が追記された。
 - －推薦者として、評議員のほかに「名誉理事長、名誉会長、名誉会員、特別会員、監事」が追記された。
- ・会員歴について7年は短いのではないかという意見がだされ、他学会の会員歴が10年以上にさらに内視鏡外科学会の会員歴が7年以上としたほうが良いのではないかという意見もだされた。
- ・更新制の条件について現在は設けてないが、今後規定を設けていく予定である点を早めに会員に提示する必要性について話し合われた。
- ・将来的な評議員の申請方法については、規約委員会・将来構想委員会・評議員選考委員会の合同委員会で改めて2016年6月に議論する予定であることが報告された。

3) 財務委員会（小澤壯治委員長）

- ・2015年度決算報告がなされた。
- ・2015年正味財産について報告された。
- ・2015年収支について報告された。
- ・2015年財産目録について報告された。
- ・2015年度の監査報告が3名の監事で行われ適切かつ妥当であった点が報告された。

4) マイナンバーについての報告（事務局 野上）

- ・NTTデータに協力を仰ぎ処理を委託することについて報告された。
- ・委託する際の費用について1件4000円になる点が報告された。費用について高額である点に指摘が入り、今後NTTデータを起用するかは要検討とされた。
- ・本来は事務局で取り扱うのが良いのではないかとの意見もなされた。

5) その他

メール内でのパスワード付与の際の注意点

- ・個人情報絡まないファイルにはパスワードはかけず、#nozipを付与したうえで、添付し送付する点が約束された。自動パスワード生成は使わない点も強調された。

以上

2015 年度技術認定申請者リスト（泌尿器科領域）〔新規〕

青柳 俊紀（市立釧路総合病院泌尿器科）	福島 正人（福井済生会病院泌尿器科）
泉 浩二（金沢大学附属病院泌尿器科）	松本 一宏（慶應義塾大学医学部泌尿器科）
岡根 克己（秋田厚生医療センター泌尿器科）	山岸 貴裕（山梨県立中央病院泌尿器科）
小口 智彦（長野市民病院泌尿器科）	山口 隆大（熊本大学医学部附属病院泌尿器科）
高井 公雄（済生会下関総合病院泌尿器科）	山田 幸央（日本赤十字社医療センター泌尿器科）

2015 年度技術認定申請者リスト（泌尿器科領域）〔更新〕

今井 伸（聖隷浜松病院泌尿器科）	諏訪 通博（立川総合病院泌尿器科）
額川 晋（東京慈恵会医科大学泌尿器科学講座）	高島 博（上尾中央総合病院）
河 源（大阪府済生会野江病院）	室田 卓之（関西医科大学附属滝井病院腎泌尿器外科）
木下 秀文（関西医科大学枚方病院腎泌尿器科）	望月 端吾（市立旭川病院泌尿器科）
倉橋 俊史（聖隷三方原病院泌尿器科）	米田 公彦（医療法人清仁会亀岡シミズ病院）
白岩 学（米沢市立病院）	

2015 年度技術認定申請者リスト（産科婦人科領域）〔新規〕

芦田 敬（川口市立医療センター産婦人科）	堤 誠司（山形大学医学部附属病院産婦人科）
伊藤 美幸（京都大学医学部附属病院産婦人科）	濱地 勝弘（社会医療法人博愛会相良病院）
越智 寛幸（筑波大学）	松浦 祐介（産業医科大学産業保健学部広域・発達看護学）
太田 邦明（那須赤十字病院産婦人科）	松本 光司（筑波大学医学医療系産婦人科学）
小泉美奈子（社会福祉法人三井記念病院産婦人科）	吉田加奈子（徳島大学病院産婦人科）
杉尾 明香（札幌医科大学附属病院産婦人科）	涌井 之雄（KKR 札幌医療センター）
竹村 昌彦（大阪府立急性期・総合医療センター）	

2015 年度技術認定申請者リスト（産科婦人科領域）〔更新〕

泉谷 知明（高知大学医学部付属病院）	飛梅 孝子（近畿大学医学部附属病院産科婦人科学教室）
梅村 康太（愛知県豊橋市民病院）	鍋島 寛志（Raffles Japanese Clinic）
加藤 剛志（徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野）	西澤 春紀（藤田保健衛生大学病院産婦人科）
川村 良（総合病院厚生中央病院）	羽室 明洋（大阪市立大学医学部附属病院産婦人科）
木林潤一郎（横浜総合病院産婦人科）	深谷 孝夫（東北薬科大学病院産婦人科）
幸本 康雄（東京都保健医療公社荏原病院）	藤原 敏博（山王病院リプロダクション・婦人科内視鏡治療センター）
小玉美智子（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教室）	堀川 道晴（アルテミスウイメンズホスピタル産婦人科）
須藤 慎介（医療法人財団足立病院産婦人科）	松岡 正造（順天堂大学医学部附属練馬病院産婦人科）
袖本 武男（関東労災病院産婦人科）	三木 通保（天理よろづ相談所病院）
田中 浩彦（三重県立総合医療センター産婦人科）	三宅 貴仁（三宅医院）
出浦伊万里（鳥取大学医学部附属病院産科婦人科）	吉田 浩（横浜市立市民病院）

2015 年度技術認定申請者リスト（整形外科領域）[更新]

高橋 寛（東邦大学医療センター大森病院）

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2015 年度（自 2014 年 10 月 1 日 至 2015 年 9 月 30 日）第 1 回社員総会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2015 年 12 月 10 日（木）17：50～19：00

☐開催場所 大阪国際会議場 5F 大ホール

☐理事総数 20 名

☐監事総数 3 名

☐出席理事数 20 名

☐出席監事数 2 名

☐出席理事の氏名

北野正剛，渡邊昌彦，岩崎昭憲，岩中 督，大貫恭正，小澤壯治，黒川良望，坂井義治，
塩田 充，堤 治，出沢 明，寺地敏郎，徳村弘実，橋爪 誠，松田公志，森 俊幸，
森川利昭，山下裕一，若林 剛，渡邊聡明

☐出席監事の氏名

馬場志郎，松本純夫

☐出席名誉理事長の氏名

北島政樹

☐議長の氏名

松田公志

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り，定款第 21 条に則り総社員の過半数以上の参加（520 名）が確認され，北野正剛
理事長が総会の開催を宣した。議事に先立ち 2015 年の物故者の先生方に対し黙祷がなされた。
続いて，議長が松田公志先生に移り，議事に入った。

議事の経過の要領及びその結果については，前日に行われた理事会における報告事項及び審
議事項における内容が変更・修正なく承認されたので，理事会議事録において各々対応する事項
の記載をもって，省略する。

議事の最後に，以下の名誉会長・名誉会員・特別会員の推戴状授与式が行われた。

<名誉会長>

大橋 秀一
白日 高歩
谷川 允彦
東原 英二

<名誉会員>

伊熊 健一郎

<特別会員>

池田 正仁
加納 宣康
亀岡 信悟
平田 公一
三木 恒治
村田 宣夫
上西 紀夫
中尾 昭公
山口 俊晴

続いて、出月賞・大上賞の授賞式が行われた。

<出月賞>

小野田 貴信（斗南病院外科）

<大上賞>

笠間 和典（四谷メディカルキューブ）

以上、社員総会の議事の経過並びに結果が正確であることを証するために、議事録を作成し議長がこれに記名押印する。

（以下略）

以上